

項目	内容
名称	マ加里バナ [英]Clown's Mustard Plant、Bitter Candytuft、Candytuft、White Candytuft [学名]Iberis amara、Iberis coronaria
概要	マ加里バナ (歪り花) はヨーロッパおよび北アフリカ原産のアブラナ科の一年生草本で、高さ20~40 cm程度に生長する。主に葉、茎、根、種子が消化不良などに対する効果を期待して利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ククルビタシン、グルコシノレートなどを含む (101) 。
分析法	・全草中のフラボノール配糖体をNMRにて同定した報告がある (PMID:19320289)。
有効性	
ヒトでの	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson. (PMID:19320289) Pharmazie. 2009 Feb;64(2):142-4.	